

青い森の環境を みつめてみよう!

「女性」は活躍出来る場があれば素晴らしい力を発揮すると感じています。今日、ご自分で得たことをメッセンジャーとなってぜひ家族や仲間へ伝えていただきたいと思えます。

今後が心配な日本のエネルギー事情、青森県固有の環境問題、私たちの生活と環境はとても密接です。

どうしたらエネルギーの消費量を減らせるのか学生たちが環境家計簿やエコマネーを試みましたが、どちらも省資源、省エネルギーに貢献することが出来、かつ家計の節約にも結びつけることが出来ました。

レジ袋かマイバックか、トイレペーパーを使うのとウォシュレットを使うのではどちらが環境に良いか等環境の論議をする際、ある部分だけの論議で終わってしまうことが多く根本的な解決にはなりません。物を考える際は、全部の視点でとらえることが大切です。

戦略はライフスタイルをどう変えるか。折角の機会なのでテーブルトークで「私はこんなことをやっている。」「もっとこんなことがあるのではないか。」などとお話しましょう。

意識の変化だけでは状況は何も変わらないのです。

キーワードは「行動する市民」できるところからやっていくことが大切なのです。



日景 弥生先生

埼玉県生まれ。青森県民歴26年。青森大好き人間の一人。専門は生活者視点からとらえた「環境」。自身のキーワードは「行動する市民」。弘前大学教授。



日景先生の 講演をお聞きして

- 日景先生のお話はわかりやすくテーブルトークも有意義だった。
- 個人の価値観に合わせて「行動する」こと。日景先生がおっしゃった行動する市民になろう。
- 自動販売機が乱立しすぎると私もあった。電気の無駄遣いに繋がるのではないかと。

参加の動機

- 原子力について、エネルギーについて知識を得たいと思った。
- 日景先生のお話非常に興味があった。
- これからの活動の幅を広げていくヒントを得るために参加した。



放射線について

- 「放射能」「放射線」に対してただ怖いと思うのではなく、正しく理解することが大切だと思う。でも、人は切羽詰った環境(例えば放射線治療を受ける等)になって初めて知識を深めようと思うのかもしれない。
- 自分自身が放射線治療を受けたことから放射線に対して興味がある。
- 報道で取り扱われるのは悪いことばかり。食べ物や自分の体から放射線が出ていること、品種改良に使われているのを知り驚いた。



省エネ・エコについて

- 省エネは、それぞれの家庭にあったやり方で進めていくのが良いのでは。
- 自動販売機やコンビニエンスストアは24時間365日必要なのだろうか。
- マイバックのみならずマイはしを持ち歩き今日も使った。



報道について

- マスコミ報道を鵜呑みにするのではなくどの情報が正しいかを判断する知識を身につけることも大切。実際に現場を見学するのが一番だと思う。
- 新聞記事だけ信用するのではなく、自分の目で見て確かめて納得すれば良いのでは。

地震やトラブルに ついて

- 中越沖地震があって青森県は大丈夫なのだろうか漠然とした疑問を感じている。
- 中越沖地震による被害は想定外だったが、六ヶ所施設の地震対策は信用している。
- 一般の人が正確な情報を持つことができるように、事業者は情報を提供して欲しい。



テーブルトーク・ ダイジェスト



原子力について

- 事業者は、安心、安全の一点張りではない。何が安全なのかわかりづらい。
- どこまで安全なら受け入れられるかという基準が明確でない。
- 小さい頃から教育の場で教え伝えることが大切だと思う。
- 賛成者も反対者もそれぞれ同士のみで集まることが多い。お互いに意見交換をしたり、中立的な立場で話を聞く間が必要である。



その他

- 「知らないって怖い!」機会を見つけて自分で勉強する姿勢が大切であることを感じた。
- 勉強の機会に恵まれていることに感謝!
- 交流会などでお話することで色々理解できるようになる。続けていくことが大切。